

UFOの里ふれあい スポーツクラブ

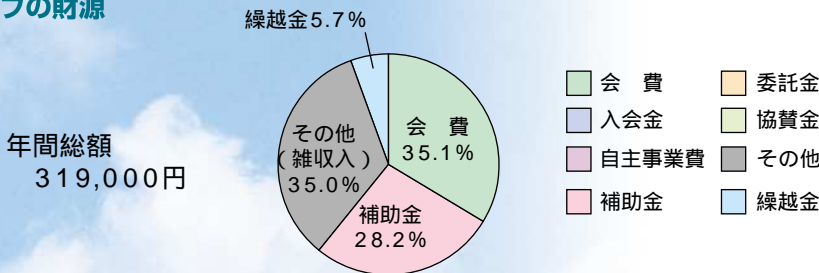
飯野町

〒960-1301 伊達郡飯野町飯野字境川19-2 飯野町公民館内
UFOの里ふれあいスポーツクラブ事務局
 TEL024-562-3335 FAX024-562-3686
 E-mail syogai@town.iino.fukushima.jp

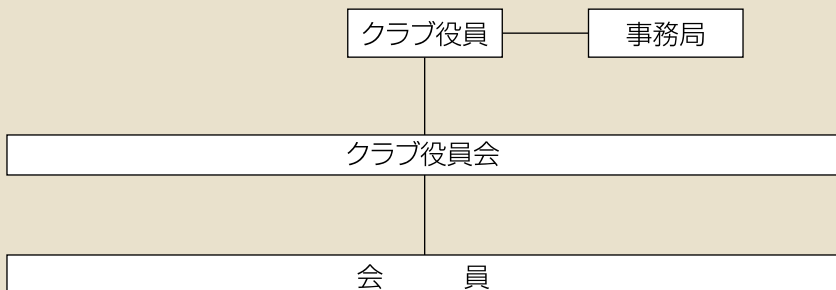
- 教育環境** 小学校3校 中学校1校
- 会 員 数** 66名(平成19年10月1日現在)
一般9名 60歳以上57名
- 入 会 金** なし
- 年 会 費** 1,600円(保険代含む)
- 活 動 種 目** グラウンドゴルフ、パークゴルフ、ペタンク、ボウリング、健康体操、フォークダンス、卓球、ウォーキング
 サークル活動 健康体操、卓球
 スポーツ教室 ソフトバレーボール
 イベント活動 パークゴルフ大会、ペタンク大会、ボウリング大会、卓球大会、4地区対抗グラウンドゴルフ大会
- 活 動 場 所** 町スポーツ広場 福祉センター講堂 町民体育館
- クラブハウス** なし



クラブの財源



クラブ運営組織図



生涯スポーツの推進をはかるため平成14年「一町民スポーツ」を合言葉にUFOの里ふれあいスポーツクラブが設立された。設立時(なりゆき上)、中高齢者で構成するグラウンドゴルフ会を母体としてクラブが誕生した。こうしたクラブ事情を考えて、役員会では「みんなで楽しめるクラブ、手作りのクラブ」をつくらうということにした。クラブが目ざしていることは、(1)スポーツを楽しもう(2)仲間との交流をはかる(3)3つの種目に挑戦しよう(4)目標を持ってプレーしよう(5)無理はしない。

まずは楽しむこと。楽しければいい。明日も来ようと思う。仲間との語りも大事。女性同士語らいがあり、男性同士の語りもあり、そして、男女一緒にプレーの中で男性が発するユーモラスな会話が笑い声を爆発させる。それから、3つの種目に挑戦してみようということにした。決して無理強いはいらない。1つの種目を十分こなせるようになったら、「次はこんな種目もあるよ。どうですか?」だ。もともとなんのスポーツであれスポーツを楽しんでいる人には、意欲のある人が多い。チャレンジ精神が旺盛だ。そして、また1つスポーツの世界が広がる。何かをやっている以上、挑戦している以上、やはりうまくなりたと思うのが常だ。82才のおばあちゃんがグラウンドゴルフで1打差で5位入賞をのがして「くやしい」と言った。特別に敢闘賞をあげたら非常に喜んだ。80才でも負けたくやしいという気持ちがある。そしてうまくなろうと努力するんだと思う。しかし、しかし、我がクラブはなにしろ60才から80才のオン年だ。無理は禁物だ。大会などでは特に大きい声で「無理しないように、いつものペースをお願いします」と申し上げる。が、みなさん、「今日はやってやる!」の面構えで眉が逆立っている。しょうがない。今やこれが生きがいなのだから。

クラブスタッフからの一言

クラブを設立してから5年目を迎えているが、設立当初から中高齢者の集団だ。今のところ若い層の入会は望めそうにないので、この際、団塊の世代のみなさん、特に家にいる男性陣を引っ張り出してスポーツの楽しさを知ってもらおうと頑張ってみようと思う。

クラブ設立のきっかけ

平成14年5月21日設立
 平成12年頃に県から設立要請があり、町が「一町民スポーツ」というスローガンのもとに腰を上げた。まずは、行政の指導で町体協、体育振興会、体育指導委員会ほか、各スポーツ団体に呼びかけを行い、数度の会合を持ち、他の市や町のクラブの視察などを行いながら、一歩ずつ歩みを進めていった。

クラブを設立してよかった点

クラブができたことによって、ニュースポーツが導入され、グラウンドゴルフを筆頭に住民がいろいろな種目に挑戦できるようになった。特に、健康体操は、ベテランのインストラクター(町体育指導委員)の指導が評判を呼び、朝日新聞の取材、NHKの数度にわたっての放映があり県内でも話題を呼び、UFOの里飯野町が大きくPRされた。

クラブの課題

会員数を増やしたい。現在、昨年より4名減の66名。平均年齢69歳。若い層が入ってこないで、年々平均年齢が上がっている状況。平成20年には福島市と合併する。クラブへの助成金がなくなるという。町内で実施するイベントは会員100円、非会員200円程度で実施。あまり高くすると参加者が減ってしまう。今年度は会費の値上げを視野に?しかし、高い会費を払ってまで入会しようとは思わない、との声が聞こえてしまう。